

文化祭図書委員会参加企画「多言語による絵本読み聞かせ」

1 活動の概要

活動の目的：本校図書館の蔵書を使って、外国語の授業で学習している言語による読み聞かせを実施することで、多様な言語にふれることが可能な本校図書館の特徴をアピールする。

2 活動の状況、実際

【当日までの流れ】

- ①文化祭図書委員参加企画の決定…5月図書委員会総会で、文化祭企画内容について話し合いをし、「多言語による絵本読み聞かせ」に決定。
- ②読み手の募集、絵本の選定…図書委員を中心に読み手を募集し、日本語のほか英語・ドイツ語・スペイン語・中国語・アラビア語で行うことに決定。学校司書の助言を得ながら、読み聞かせにふさわしい絵本の選定・購入。
- ③当日のプログラム決定…図書委員と生徒ボランティア、学校司書で当日のプログラムについて打ち合わせ。
- ④当日（文化祭の2日間）…1コマ30分で各日午前1回、午後2回、合計6回の読み聞かせを図書館にて行った。外国語だけでは意味が伝わりにくいため、日本語版を併せて読む、通訳や解説などを入れるなどの工夫をした。
両日で来場者数は合計70名程度であり、用意した座席がたりなくなる時間もあった。



3 今後の取組、目標

当日の様子

プログラム編成の工夫、広報活動の充実に力を入れて、多様な言語で書かれた本にふれる楽しさと本校図書館の魅力をアピールする機会として、今後も取り組んでいきたい。

4 参加者、指導者のコメント

【読み手】

第2外国語の授業で習ったことを生かした。図書委員になってよかった。

【聞き手】

英語の発音が素晴らしかった。解説や日本語訳があったので、わかりやすかった。いろいろな言語の響きを楽しむことができた。実際に絵本を手取るコーナーがあったのもよかった。

【指導者】

図書委員会として読み聞かせを実施するのは初の取組だったが、生徒主体で活動するというプロセスを重視した。展示コーナーの設置や聞き手に伝わりやすい読み方・構成など、生徒のアイデアに司書が助言をする形で進め、初めての試みとしては成功であったと考える。このようなイベントの他、図書館活性化につながる様々な取り組みを行った結果、貸出冊数は、前年度比250%となった。